

参加代表者 各位

日本ライフセービング協会 学生室

第 30 回全日本学生ライフセービング選手権大会

学生室より

テーマ 繋～30 回目のその先へ～

今まで大会を繋いで下さった方々のおかげで、私たちは 30 回目を迎えることが出来ています。互いに切磋琢磨し刺激し合う事の出来る多くの仲間との繋がりを深め、今大会を経て、ライフセービング界自体が更なる発展と共に飛躍し次へ繋がるものとなり、40 周年、50 周年と先へ向かっていく事の出来る大会を目指します。そして現状に満足せず、これまでと未来を繋ぎ、新たなスタートとして切り拓いていく事の出来る大会にしたいと言う思いを込めました。

■ビーチリレー

ビーチリレーにおいて、決勝ヒートに惜しくも進出できなかった大学で抽選を行い 4 校選出し、その中で各大学よりビーチリレーに出場した選手の中より 1 名選出して選抜チームを結成します。エントリー数の関係で、準決勝がある場合は準決勝敗退チームの中より抽選を行います。

選抜チームはオープン参加になりますので得点、表彰の対象には入りません。

【目的】

決勝進出できなかったチームにも新たな可能性に挑戦してほしいという思いと、来年は所属する大学で決勝に残れるように「頑張りたい!」と、実感してほしいという思いから選抜チームを結成しレースをすることとなりました。また、選抜チームを作ることで新たな交流ができればいいと考えています。選抜チームは結果だけでなく、出場した選手の方が新たな何かを得られるものにして頂きたいと思えます。優勝を狙う勢いで各チームから選出された選手は頑張ってください。

■BLS アセスメント評価について

全日本ライフセービング学生選手権大会では、学生ライフセーバーの BLS の技術向上のため、以前より A 判定 8 点、B 判定 0 点、C 判定 0 点の得点方法を採用しております。

しかしまだ全大学が A 判定ではありません。よって今大会でも今までの大会を踏まえて全大学が A 判定を獲得すべく、上記の得点方法を採用する予定です。(詳細は 2 次要項にて発表いたします) つきましては、学生選手権の前に開催される西日本、東日本予選会にて実施される BLS の講習会へ積極的に参加し、正確な BLS を行うためにも確認を行ってください。昨年の結果を上回るべく各チーム、ひとりひとりがライフセーバーとしての自覚を持ち BLS の精度向上に努めていただきたいと思います。

ライフセーバーとして、BLS は「ライフセービングをしている学生にはできてあたり前の事」です。私達ひとりひとりが BLS の重要性を再認識するひとつのきっかけとなり全大学、全ライフセーバーが A 判定となる様、再確認をお願い致します。

■学生室イベント

1. 繋・サイコロフォトセッション

今回のイベントは他大学の方とクラブジャージを交換し、お題の書かれたサイコロを振って出た目に書いてあるポーズで写真を撮影して頂きます。サイコロの目は、握手・肩組み・腕組み・ハグ・両手ハイタッチ・☆（自由）の6つです。こちらで各大学各学年（1～4年生）の大学組み合わせリストの作成をするので各学年の代表者を1名選出しておいて下さい。男女は問いません。組み合わせリストの写真が撮影し終わったら、自由に好きな方と写真を撮影しに来て下さい。この写真をムービーにまとめたものを11月に開催される第7回全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会で放映させて頂きます。

積極的な参加お待ちしております。

2. 大学紹介ポスター

投票により優秀作品を決定いたします。各大学1票必ず投票してください。投票権については、代表者会議の際に投票用紙をお配りします。詳細については別紙を参照ください。

■フレンドナイトシップについて

今回は各大学、1～2年生を中心とし、3名までと人数制限を設けます。参加する方の氏名を、チームエントリーフォーム内（様式G-1）に入力して下さい。

※ 郵送提出の必要はありません

内容は、ファンゲームとディスカッションを行います。

・ディスカッションのテーマ

「ライフセービングを通して学んだ事」

「身近に感じられるライフセービングとは」

「ライフセービング活動での楽しいとき」

「浜の紹介・アピール、他浜への質問」

以上のテーマの中より当日グループに割り振るので、そのテーマについて話し合ってもらい、グループでの考えをまとめて頂きます。

積極的な参加をお待ちしております。